

**「養育費相談支援センター事業民間競争入札実施要項(案)」に係る
意見募集の結果について**

標記について、意見募集の結果、2件の御意見をいただきましたので、お寄せいただいた御意見と、御意見に対する回答及び実施要項の修正内容について、ご報告いたします。なお、本件に直接関係しない御意見が2件ありました。

番号	御意見の内容	御意見に対する回答及び実施要項の修正内容
1	実施要項案1の(3)の丸1のアの本文3行目の「職員等」を「職員、母子父子自立支援員等」としてはどうでしょうか。(理由)養育費相談支援センター事業における「相談支援」は自治体の相談担当者を対象としているところ、養育費相談に従事している職員は、母子寡婦連等の団体に事業委託されていることが多い「母子家庭等就業・自立支援センター」の職員と、自治体(福祉事務所等)に配置されている母子父子自立支援員との二つの系列があります。したがって、主として両者を対象とした「相談支援」事業であることを明確にしてはどうでしょうか。(実施要項案3頁の丸2養育費相談支援事業のアの(イ)の本文1行目と平仄を合わせてはどうでしょうか)	御意見を踏まえて、「母子・父子自立支援員」を明確にしました。
	実施要項案1の(3)の丸2のイ(実施要件)について (1)最初のなかぐろの4行目 「相談支援」を「相談」としてはどうでしょうか (理由)関係機関に対する「相談支援」と、当事者からの「相談」について区別した使い方が必要ではないでしょうか。	養育費相談支援事業では、母子家庭等や関係機関からの相談に対して支援を行う事業であることから、御意見のような区別はしておりません。なお、御意見をいただいた部分については、「相談支援」よりも「相談」とした方が適切な表現となるため、そのように修正しました。
	実施要項案1の(3)の丸2のイ(実施要件)について (2)二番目のなかぐろの1行目 「概ね30分以内に、」を「概ね30分以内で対応し、」としてはどうでしょうか。	御意見を踏まえて修正しました。

	<p>実施要項案1の(3)の丸2のイ(実施要件)について (3) 二番目のなかぐろの2行目 「1件当たり概ね2日以内」を「1日当たり概ね3日以内」としてはどうでしょうか (理由) 休日や研修事業との関係で回答は概ね3日以内が相当ではないでしょうか。</p>	<p>開所日について休日があることや他の業務と重なるなどにより1件当たり概ね2日以内に対応することが難しい場合も当然想定されることから、当該要件についてはあくまで原則にとどまるものとさせていただいておりますので、原案通りとしました。</p>
	<p>実施要項案1の(3)の丸2のイ(実施要件)について (4) 4番目のなかぐろの本文 22時まで相談電話を受け付ける日を平日1日設けることについて (意見) 夜間の相談時間の延長に対するニーズはそれほど多くはないと見込まれます(養育費相談支援センターにおける26年9月分(稼働日数26日)の電話相談についてみると、総件数(概数)470件のうち17時から20時までの相談件数は86件(18.3%、1日当たり3.3件)です。また、22時まで対応する当日の相談開始時間を12時からにした場合、利用者に周知されにくいという点も懸念されます。</p>	<p>仕事などの都合で日中に相談することが難しい方のために相談の機会を広げる必要があると考えており、原案どおりとしました。</p>
2	<p>質の確保に関して、研修会後のアンケート調査も、相談支援に関わる苦情件数の集計も、すべて受託者任せでは、不正な集計等があっても発覚しない危険性がある。厚生労働省による立ち入り検査や意見聴取は、現在の案では実際に行われるかどうかわからない。利用状況や満足度について、各地の就業・自立支援センターに受託者を経ずにアンケート調査するなどの方法も取り入れるべき。</p>	<p>厚生労働省は、年2回、民間事業者より、研修事業のアンケート結果を含む事業実施状況の報告を受けることとなっており(実施要項案第7・3(1)①)、その際、不正な集計等の有無を確認することにより、不正な集計等の防止を図っていきます。</p>
	<p>別紙2のアンケート調査票について、「エ. あまり良くなかった」「オ. 良くなかった」を選んだときや要望があるときだけカッコ内に意見を書く様式だど、意識的または無意識的に意見記入が面倒でエ、オを選</p>	<p>御意見を踏まえ、全ての選択肢についてそれを選んだ理由や、ご意見・ご要望を記入していただくこととしました。</p>

	ばない人が生じる危険性があるので、意見記入は任意にすると共に、肯定的評価のときでも、どこが良かったかなど意見記入できるようにすべきである。	
--	---	--